令和７年度(2025 年度)

事 業 報 告 書

自　令和７年(2025 年)４月　１日
至　令和８年(2026 年)３月３１日

公益社団法人城陽市シルバー人材センター

令和７年度(2025 年度)事業報告

＜はじめに＞

令和７年度は、全国的な物価上昇は落ち着きつつあるものの、生活実感としての負担感は依然として続く一年となりました。一方で、賃上げの広がりを背景に、地域経済には緩やかな回復の兆しも見られ、社会全体としては転換期にある一年でもありました。しかし、人口減少と高齢化の進行、人手不足の深刻化など、地域社会が抱える構造的課題は一層顕在化し、高齢者の就業・社会参加を支えるシルバー人材センターへの期待はこれまで以上に高まっています。

また、本年度は、国の制度改正としてフリーランス新法の施行に伴い、シルバー事業における契約方式の見直しが全国的に進んだ年でもあります。従来の請負・委任方式から包括的契約方式への移行が求められ、センター運営においても制度理解の促進、発注者への説明、事務処理の見直しなど、多方面での対応が必要となりました。さらに、公益法人制度改革により、ガバナンス強化や外部理事・監事の導入など、組織運営の透明性向上が求められる環境変化もありました。

このような社会経済情勢のもと、当センターでは「高齢者の生きがい就業の機会確保」と「地域社会への貢献」に取り組み、会員の安全就業の徹底、地域ニーズに応じた就業機会の確保、デジタル化への対応強化など、事業運営の充実に努めました。

事業実績につきましては、地域諸団体と連携した普及啓発事業を実施し、シルバー派遣事業（労働者派遣事業）の推進と拡大に向けて積極的に取り組んだ結果、前年度を８，８５３千円（３．９％）上回ることとなりました。また、会員の状況は、「新たな仲間づくり計画」に基づいた数値以上を目標とし、高年齢者の生きがいの充実、社会参加を図るための各種ボランティアや普及啓発活動等、そして会員親睦旅行では親睦と連帯を深めるなど、組織運営の円滑化、強化を図りましたが、会員の高齢化が進展するとともに、病気等による退会者が多くなり、前年度より減少することとなりました。

令和７年度は、厳しい運営環境ではありましたが、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、会員の責任のある仕事の遂行や城陽市、関係機関及び市民の皆様方の温かいご支援とご協力をいただき、業務を遂行することができました。

＜主な実績値＞

項目	目標数値	実績数値
会員数	４８９人	４６８人
契約金額（派遣事業を含む）	２２６百万円	２３５百万円
就業率	８６．３％	８８．２％

＜事業実施状況＞

１　就業機会の確保及び提供事業

（１）受託事業

①　正会員数

令和８年３月３１日現在の会員数は４６８人で、前年度に比べて１２人の減少（入会５７人、退会６９人）となりました。

なお、男性は３５６人（７６．１％)、女性は１１２人（２３．９％）で、平均年齢は、男性７６．９歳、女性７５．０歳、全体で７６．４歳となり、年々会員の高齢化が進んでいます。

②　地域貢献件数（受注件数）

令和７年度の地域貢献件数は１，１０１件で、前年度に比べて１４７件（１１．８％）の減少となりました。

この地域貢献件数の発注元別の状況は、公共事業が１４５件（前年度比５件、３．３％の減)、民間事業（事業所及び個人・家庭）が９５６件（同１４２件、１２．９％の減）となりました。

③　地域貢献金額（契約金額）

令和７年度の地域貢献金額は２１１，２７９千円で、前年度に比べて６，８７１千円（３．４％)の増額となりました。

この地域貢献金額の発注元別の状況は、公共事業が８８，７９１千円（前年度比２４９千円、０．３％の増)、民間事業（事業所及び個人・家庭）が１２２，４８８千円（同６，６２２千円、５．７％の増）となりました。

厳しい運営環境のなかで、地域貢献金額に実績をあげることができましたのは、会員が地域に根ざした責任ある仕事の遂行に加え、企業及び市民の皆様方のご理解とご協力の賜物であります。

④　就業状況

令和７年度の就業実人員は４１３人（前年度比５人、１．２％の減）、就業率は８８．２％（同１．１ﾎﾟｲﾝﾄの増）で、就業延人員は６１，６３５人日（同３，１３３人日、４．８％の減）となりました。

（２）会員増強を通じた就労支援及び普及啓発事業

①　【会員拡大強化月間】（第１回：６月１日～６月３０日まで、第２回：１１月１日～１１月３０日まで）と定め、会員１人一声加入運動の実施（新入会１７名）や、女性活躍促進に向けた会員募集等の啓発チラシを配布し、１１名の新入会がありました。（第１回：市内全世帯各戸配布３３，３７５枚、第２回：市内全世帯各戸配布３３，１０１枚）

②　会員増強を図るため、高齢者活躍人材確保育成事業（広告事業）を活用し、城陽市発行の「広報じょうよう」に令和７年４月～令和８年３月まで（１日号の計１２回）、会員募集！等の当センターに関する有料広告を掲載しました。（新入会１０名）

また、当該事業（セミナー事業）では、１２月９日、文化パルク城陽・ふれあいホールにて「桂　枝女太 講演・落語会」を開催しました。６０名の参加で、センター入会説明と会員体験談・トークショーを行うなど、６０歳以上の市民・会員に普及啓発することが出来ました。（新入会２名）

③　随時の入会説明及びシルバー人材センター入会のご案内 DVD を活用し、毎月定例の合同入会説明会（計２４回・参加者９１名）を行いました。

④　会員だけでは対応できない仕事は、求人情報紙「急募！チラシ」を地域へ配布し、会員の増強に努めました。（水主・青谷地域：２，０００枚）

⑤　会報「シルバーウェーブ」（７月・１月）を発行しました。

⑥　城陽市発行の「広報じょうよう」に事業案内等を掲載しました。

⑦　城陽市の公用封筒裏面や、城陽市高齢者クラブ連合会機関紙「微笑」及び洛タイ新報に普及啓発の広告を掲載しました。

（３）就業機会の開拓と確保提供事業

①　女性活躍促進に向けた普及啓発チラシ（就業開拓）を６月２日～６月７日までに、３３，３７５枚を市内全世帯各戸へ配布し、就業機会の確保に努めました。

②　【就業開拓強化月間】（第１回：７月１日～７月３１日まで、第２回：１２月１日～１２月３１日まで）と定め、就業開拓（シルバー派遣事業や就労に関する情報）の啓発チラシを配布するなど、就業開拓運動を実

施しました。（第１回：市内全世帯各戸配布３３，２１０枚、第２回：市内全世帯各戸配布３３，０３７枚）

③　地域諸団体と普及啓発の連携として、城陽商工会議所会員（１，４００余りの事業者）へ、城陽商工会議所発行の「会議所だより」折込チラシ同封サービスを利用し、就業機会の開拓と会員増強を通じたシルバー派遣事業 PR チラシを配布しました。（第１回：６月１日、第２回：７月１日、第３回：１１月４日）

④　就業開拓委員会委員が中心となって、９月３日～１０月１０日までに、求人情報による新規就業開拓５３事業所等へ直接訪問し、発注依頼を行い就業機会の開拓に努めました。

⑤　就業開拓委員会委員が中心となって、１２月１日～１２月１５日までに、継続受注先（発注者）３５事業所等へ直接訪問し、就業のお礼と新たな発注依頼も行い、就業機会の開拓に努めました。また、表敬訪問と併せて満足度調査を実施しました。

⑥　当センターのホームページにより、庭の除草等の発注があり、会員の就業に繋がりました。

（４）安全・適正就業対策

①　安全管理委員会委員が中心となって、就業中や就業途上の事故防止と安全意識の高揚に努めました。

②　高年齢者の健康状態や体力等を考慮した安全・適正就業として、特に夏場の屋外作業での就業時間の制限等を個別に指導しました。

③　熱中症対策として、希望する就業会員に対する空調付き作業着等購入の助成を実施しました。（申請者２０名）

④　７月８日～７月１０日、作業現場（草刈り、草引き、駐車場管理、公園内施設清掃、墓地管理清掃、小学校維持管理等清掃）で安全就業パトロールを実施しました。

⑤　８月４日、安全・適正就業強化月間（７月）に関連して、公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会安全・適正就業委員会主催の「安全・適正就業推進大会」に参加し、安全就業の推進に努めました。

⑥　１０月１６日に救命救急講習会（受講者１５名）、１０月２４日に高年齢者の防犯・交通安全教室（受講者１５名）を開催しました。

⑦　安全対策のより一層の推進を図るため、「安全就業ニュース」を適時（年３回）発行し、安全意識の徹底に努めました。

（５）福祉・家事援助サービス事業

① 家事援助サービス提供体制の充実に努めました。

② サポートが必要な高年齢者や障がい者、病弱者等に対し、軽易な掃除・片付け、家事援助など、生活の維持に必要な支援をするためのサービス提供に努めました。

福祉・家事援助サービス事業の受注件数は１２７件で、就業延人員８２０人日、受注額は2，２９８千円となりました。

（６）高年齢者の健康に関する各種事業

① ６月２１日に第１３回親睦グラウンドゴルフ大会（参加者３８名）を実施しました。

② ７月４日に、ヤクルトの健康教室「健康は腸から」（参加者３０名）を開催しました。

③ １０月１日に、高年齢者のための運動教室「今日からできる！転ばぬ先の足腰作り」（参加者２２名）を開催しました。

④ １１月４日に、Meiji 高年齢者のための健康イベント「骨密度測定&健康アドバイス」（参加者３４名）を開催しました。

（７）空き家等対策事業

① 空き家等の適正な管理を推進し、安全に安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的に、空き家となった庭の草引き・植木の枝切り及び処分・郵便物の転送など、各種サービスを行いました。

当該事業の受注件数は４７件で、就業延人員は８０人日、受注額は４４３千円となりました。

２ 職業紹介事業・労働者派遣事業による就業機会の確保及び提供事業

（１）職業紹介事業

実績はありませんでした。

（２）労働者派遣事業

令和７年度の派遣労働実人員は２７人（前年度比１人の増）、契約件数は３４件（同４件の増）で延４，１５４人日（同４０４人日の増）を派遣し、契約金額は２３，９６２千円（同１，９８２千円の増）となりました。

また、派遣労働会員に対する教育訓練（研修・講習）及び当該会員の意向に沿ったキャリア・コンサルティングを実施しました。

３ 就業のための知識及び技能取得講習等事業

① １０月９日に、福祉・家事援助サービス講習（一人でも安心してできる

家事講習　受講者２５名）を開催しました。

② １２月１９日に、人権研修（「自分を解放するための人権の学び」～部落問題学習を核にして～　受講者２９名）を開催しました。

③ ３月１３日に、緑地管理講習会(植木剪定・座学　受講者１５名)を開催しました。

４　その他高年齢者の就業に関し必要な事業

① 令和７年度シルバー人材センター事業普及啓発促進月間「シルバーの日（１０月の第３土曜日）」である１０月１８日（土）に会員及び役職員３６名の参加で、鴻の巣会館前からＪＲ城陽駅前広場及び周辺道路において、清掃ボランティア活動を行いました。

② 当センターと城陽市及び京都府山城広域振興局との間で「山城ふるさとを守る絆ネット推進事業（見守り）」における「山城ふるさとを守る活動に関する協定」を締結、当センターでは「地域見守りボランティア活動」として、会員が広報紙等の全世帯各戸配布業務中に市内の全世帯及び事業所の日常生活で何らかの異変等を察知した場合、当センター事務局等へ連絡（通報）していただく活動をしており、令和８年３月末現在のところ、１件の連絡（通報）がありました。

５　福利厚生事業（共益事業）

① １１月２２日に、日帰りの会員親睦旅行（滋賀県　近江八幡の旅　参加者３８名）を実施しました。

② 会員の生きがいづくりを促進するため、各種サークル活動の自主的な運営に側面的な支援をしました。

６　その他、目的達成のための必要事業

（１）定時総会

定款の定めにより、定時総会を令和７年６月６日に開催し、事業運営上の議案を審議しました。

（２）理事会

理事会を年５回開催し、事業実施に関する議案を協議・決定しました。

（３）三役会

三役会を年５回開催し、理事会への審議等の提案事項を決定しました。

（４）各種委員会の開催

① 安全管理委員会を年５回開催し、会員の安全・適正就業について検討しました。

② 福利厚生委員会を年２回開催し、会員の福利厚生及び知識向上について検討しました。

③ 就業開拓委員会を年４回開催し、会員の就業機会拡大の方策等の検討や取引の継続を依頼するため、既存取引事業所へ表敬訪問しました。

（５）地域班活動事業

① 正・副地域班長会議を年４回開催し、会員相互の連携意識の高揚と親睦を深める事業等について検討しました。

② 各種事業への積極的な参加を班会員に呼びかけました。

③ 地域班「女性の会」発足によりレクリエーション等親睦活動を推進し、地域班活動並びにセンター事業の機能強化に努めました。

④ 班会員に講習会の案内や会報「シルバーウェーブ」の配付を行いました。

（６）健全な財政運営の推進

シルバー人材センター事業運営の財源である国及び京都府の補助金の運営費補助の一部が事業費補助に組み替えられ、国の事業費補助金を高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（人手不足等分野の業務）として措置されたシルバー派遣事業を積極的に推進し、就業先の開拓や事業の効率的・効果的な実施及び事務経費の見直しを行い、財政の健全化に努めました。

また、「フリーランス新法」施行に伴い、センター会員が請負・委任の形態で就業する契約について、新たな契約方法（包括的契約）へ令和８年４月から移行する準備と、会員専用サイト「Smile to Smile（ｽﾏｲﾙ ﾄｩ ｽﾏｲﾙ）」を導入しました。

（７）拠点シルバー人材センターの連携

山城地域拠点シルバー人材センター理事長・事務局長等連絡会及び事務局職員会議で、各拠点シルバー人材センター運営の向上を図るため、共通課題の検討及び情報交換をしました。

（８）事務局体制の充実

事務の効率化の推進に向けて、また、事業実施に必要な資格・免許取得のための研修会に積極的に参加し、研鑽に努めました。

附　属　明　細　書

事業報告に関する附属明細書に記載すべき重要な事項がないため、省略している。